

保護者の皆様へ



# えんとうまめ通信

練馬区立中村小学校 心のふれあい相談員 遠藤 絵里

## 『失敗』と考えること

暑かった運動会が終わり、少しずつ秋の風が気持ちよくなってきました。

子どもたちの様子を見ながら、私自身が子どもの頃のちょっとのんびりした運動会を思い出していました。家族や祖父母も見に来てくれて、いっしょにお弁当を食べるお祭りの行事だったなあという印象があります。

長閑な小学校時代のことを考えていたら、一つの「失敗」がよみがえってきました。4年生くらいの時、廊下に置かれていた鉢植えがゴムの木だと聞いて、どこをどうやったらゴムになるのかとても不思議に思ったのです。ゴムの木には緑色の大きな葉っぱがついていて、もしかしたらこれが伸びるのではないかと思いつき、思い切り引っ張ってみました。すると、当然ですが葉っぱはピリッと破けてしまいました。私は、学校のものに大変なことをしてしまった！と焦ってしまい、かなり動揺しながら職員室へ行きました。担任の先生に正直に告白すると（怒られると思っていましたが）大笑いされたのです。「ひとつ、勉強できてよかったね」と言われ、ホッと安堵したことを覚えています。

今、子どもたちを見ていて、一つ失敗（と考えること）があると、全部ダメだと思ってしまう子が多いなと感じます。「失敗してもいいんだよ」と声をかけていても、なかなか自分で納得できない様子です。

私はゴムの木の一件で、ゴムは皮を削って出る白い汁から作られるのだということを知りました。ゴムの木には申し訳ないことですが、まさに失敗から学んだことでした。

エジソンの有名な言葉に「我々は失敗したのではない。ただ、うまくいかない一万通りの方法を見つけただけ」という一言があります。なんと前向きな嬉しい言葉でしょう！ もし一つの失敗を「うまくいかない方法を一つ発見した」と思えたら、本当に気持ちが楽になって次に進んでいけますよね。

子どもたちが、うまくいかないことがあって行き詰っている時、それですべてが終わりではない、ということに気づけるといいなと思います。まず私たち大人が、失敗に対する緊張感や恐れから解放され、「それで一つ前に進んだんだよ」と心から伝えられるようにしたいですね。

相談室直通電話 080-2010-1957 月・水・木（面談は原則9時～2時ですが、ご都合のつかない場合は予約の際にご相談ください） 火曜日は臨床心理士の中里先生が相談室にいらっしやいます。